

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年 2月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500182
法人名	有限会社うれし舎
事業所名	グループホームうれし舎
所在地	〒896-0078鹿児島県いちき串木野市生福6303-9 (電話) 0996 (32) 5061
自己評価作成日	平成31年1月31日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成31年2月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 周囲を田畑に囲まれ、四季の移ろいを日々感じれる
- ご利用者様に常に寄り添ったコミュニケーション
- 制約や拘束が無く、明るく開放的で自由な雰囲気
- 常時ご利用者様本位でのサービスの提供

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、市中心地より少し離れた、閑静で自然豊かな農村地帯に設置されており、敷地には多種の樹木等が植えられて四季を感じながら平穏に生活できる環境である。近くには小・中学校や保育所、神社、公園等があり日常的に地域住民との交流を図っている。

管理者及び職員は、理念に沿って利用者の誇りや尊厳を大切に、思いや意向の把握に努め、安全を確保しながら利用者が笑顔に満ちた、生きがいのある日々を過ごせる支援に取り組んでいる。利用者の健康状態に配慮し、希望に添って外出やレクリエーション等に計画的に取り組み、また、個別の支援も積極的に行って、利用者の日常生活の中でリフレッシュを図っている。

管理者は、日頃から職員との信頼関係や協力体制の構築に努め、意向や要望等を気軽に述べ合ってサービスの質の向上を図っている。改善に際しては内容を職員会議等で協議し、目標達成計画に反映させて取り組んでおり、家族会の発足や身体拘束委員会の充実等の成果が見られている。また、職員のスキルアップや資格取得については外部講師による研修の実施や、法人による経費の助成、勤務体制が配慮され、勤務シフトの作成や外部研修の受講にも可能な限り本人の意向を反映させるなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念は揭示し、日々のケアに反映されるように努めている。	地域密着型サービス事業所としての意義を踏まえた理念を、玄関や休憩室等に揭示して共有を図ると共に、申し送りやカンファレンス会議、職員会議時にケアの振り返りや意見交換を行って、理念に沿った支援の実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公民館に加入し、地域行事も参加している。 事業所行事の地域の方々の参加もあり交流が出来ている。	自治会に加入し、利用者が地域と関わりながら生活できるように地域の行事や祭り等に参加している。家族や友人等の来訪が頻繁にあり、散歩や買い物、通院時には地域の人々との挨拶や会話を楽しみ、ボランティアの受け入れや農産物を頂くなど円滑な交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	小規模ではあるが、神社清掃等をご利用者様と共にボランティア活動に参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回、運営推進会議を行い利用者様への現状等報告している。 公民館長や民生委員とも話し合う機会となっている。	会議は家族代表、民生委員、公民館長、市担当職員等が参加して定期的で開催しており、ホームの現況や行事、ヒヤリハット事例等を報告し、委員からは利用者のケアや防災に関する意見等が活発に出されている。職員は、内容を会議録で共有してサービスの向上に反映させており、会議録は家族にも配布している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の状況（アクシデント等）を報告や連絡をして、意見や指示を頂いている。 月1回の介護相談員の訪問時には、ご意見を伺いサービスの質の向上につなげている。	市職員には介護保険更新や各種報告書の提出の他、ホームの運営や利用者の支援に関わる相談を行って、助言・指導をもらうなど、日頃から協力関係を築いている。市主催の会合や研修会に積極的に参加して行政職員や他施設職員と意見交換を行い、介護相談員も毎月受け入れて、サービスの向上に活かしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置し年4回の自主学習会を実施して全スタッフが理解している。	マニュアルを整備し、身体拘束に関する研修を計画的に実施して認識の共有を図っており、利用者の尊厳やプライバシーを大切に言葉づかいやケアの方法の実践に努めている。昼間は玄関等の施錠は行なわず、外出したがる利用者には一緒に散歩し、寄り添いに努めて安全を確保するなど、拘束のない自由な暮らしの支援に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法等については学習している。 利用者の尊厳を守り、声掛けや言葉使いについてもスタッフ間で共有し話し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個人参加での研修・講習等で学ぶ機会はあるが、施設括りでの勉強会は未だ開催してはいない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に、ご家族に見学に来ていただき、看取りの方向性まで含め十分に説明している。 不安の無いよう疑問・意向を伺い納得を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時にご家族とコミュニケーションを図り、思いを汲取るように努めている。	利用者の意見や思いを日常会話や表情、仕草等から把握に努めている。また家族とは面会や運営推進会議、イベント時の対話、電話等で気軽に意見を出して貰い、また、家族会も発足させて要望等の把握に努めており、職員全員で検討して改善を図っている。検討の結果は、本人や家族にも説明して理解を得ている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	いつでも意見を言える雰囲気や関係に努め、毎月のカンファレンス等でも意見や提案が出る機会となっている。	管理者は、日頃より話しやすい雰囲気作りに努め、業務中やユニット会議、個人面談等で意見や要望、悩み等の把握に努めている。勤務シフトや外部研修の参加は可能な限り職員の希望を反映させ、スキルアップや資格取得に対しても勤務時間への配慮や受講料の補助など、働きやすい職場環境の整備に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフの個々の意見や提案・就業環境の把握に努めている。勤務シフトは常に職員の希望を取り入れたシフト運営となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>カンファレンスではテーマを設け勉強会を行っている。外部研修にも積極的に参加できる機会があり、意欲向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会さつま半島支部に加入し、年数回程度の研修等に参加してネットワーク作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	安心して過ごしていただけるように、本人の要望を必ず聞き信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族より入居前の様子や生活歴・不安なこと・要望を十分に聞き、入居後も日常の生活の様子等の報告を行い、信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様・ご家族の意向・要望を反映できるよう支援方法を検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活させていただくという姿勢を大切にし、時にはご利用者に頼ったり相談することもある。安心して過ごせるよう関係性を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話等で本人様の状態を伝えながら、ご家族の意向を伺っている。 ご家族に出来る事はしていただき、共に支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人・友人の面会やご家族と外出されたり、馴染みの関係が保たれている。 面会時はゆっくり過ごしていただけのように支援している。	入所前の生活状況を基に、利用者個別の人間・生活関係の情報を把握している。家族や友人の来訪時にはゆっくり過ごせるようにお茶や面会場所等に配慮し、電話や手紙の取り次ぎに努め、希望に沿って散歩や買い物、一時帰宅、外食等を家族と協力して支援している。遠方の家族には、写真や園の情報紙で近況を伝えるなど、馴染みの人や場との関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の人間関係を把握し、自然な関係が出来る様見守っている。 入居者同士が協力・尊敬しあえ、共に支えあうような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設外でお見かけしたときにはお声掛けをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との会話や表情・行動から思いを聞いたり・感じたりして気持ちを汲み取りケアに活かしている。	利用者の思いや意向を日頃の支援の中で把握に努め、利用者主体の最善のケアになるよう取り組んでいる。その人らしい生きがいのある日々が過ごせるように、外出や趣味（編み物、手芸等）の取り組み、余暇時間の過ごし方は、利用者の習慣や希望に添って個別の支援にも努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前調査やそれまで在籍されていた施設からのサマリー等で情報収集を行っている。今までの生活が継続できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズム・心身の状態を把握し、情報共有している。状況変化に応じた対応が出来るように努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様・ご家族から意向を聞き、カンファレンスで意見を出し合い、現状に合った介護計画を作成している。	本人及び家族の思いを把握し、主治医や訪問看護師の意見やモニタリングの結果等を基に、具体的で解りやすい介護計画を作成している。支援の実施状況は「介護支援経過」「バイタルチェック表」等で共有して改善に努めている。定期的な見直しに加え状態変化時には計画の修正等を柔軟に行って、実状に即した支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケア・気付きは個別に記録している。 状態変化や気付きは情報を共有して見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の身体の状態変化があった時にはその都度かかりつけ医や医療機関のアドバイスを受け、連携を図りながらその時のニーズに合わせて対応できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域神社への参拝や散策等で地域資源を活用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には、入居前からのかかりつけ医を継続している。 必要な時にはスタッフも同席して状況を説明している。	利用者の病歴等を把握し、本人・家族が希望する医療機関での受診を支援している。 定期的な通院や訪問診療が実施され、専門医での受診も家族と協力して同行するなど、密に連携を図っている。日常的に健康管理が徹底され、医療連携体制も構築されて、利用者、家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週1回の訪看訪問時に相談・報告し、処置や受診等のアドバイスを受けている。 また、24時間体制で緊急時や夜間でも相談が出来る。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には情報提供書を作成・提供している。 入院中は面会に行き、医師や看護師との情報交換に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の時に看取りの説明を行い、終末期をどのように迎えるのか確認している。 本人・家族・かかりつけ医と連携を図り、納得のいく終末期を過ごせるように最大限に出来る事を支援。</p>	<p>重度化や終末期の対応指針を整備し、入所時に本人や家族に説明して理解を得ている。利用者が重度化した時点で、主治医から病状を説明され、家族や関係者は話し合いを重ねて、可能な限り希望に添った支援に取り組んでおり、これまで2件の看取りを行っている。看取り後はケアの振り返りや研修の実施で、スキルアップや不安感の軽減を図っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や初期対応を訪看や外部研修で受けている。 AEDも常設している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練を行っている。</p> <p>運営推進会議で地域との協力体制も確認している。</p>	<p>夜間想定を含む火災発生時の訓練を消防署も参加して年2回実施し、地域住民との協力体制も築いている。自動火災報知機やスプリンクラーが設置され、災害発生時の必需品（ラジオ、卓上コンロ他）や食料品、飲料水を備蓄している。また、公民館主催の風水害訓練にも参加し、日常的に避難経路の確認やマスコミによる災害事例を基に意見交換するなど、防災に対する共通認識に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや態度に気を付け、利用者様の個々に合わせた声掛けを心掛けている。	人格の尊重やプライバシーの確保については研修の実施で周知を図り、日常的に意見交換して尊厳に配慮したケアの実践に取り組んでいる。居室への入室や排泄・入浴・更衣等のケアに際しては、特に人格を損ねる言葉や対応を行わないように努めている。居室やトイレ、浴室等はプライバシーが確保された構造で、ケアに関する台帳等も配慮して取り扱っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分の思いや希望を話せる雰囲気作りや心掛けをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の環境・状況に応じて、出来るだけ希望に添えるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	清潔保持に努めている。 希望があれば、ご家族と共に美容室に外出している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好や状態に応じて食べやすいように工夫している。 利用者様に出来る事は手伝ってもらっている。	利用者の嗜好や摂取制限、形態等を把握し、栄養バランスも配慮して調理している。季節感のある食事や、行事食、代替品の提供、手作りのおやつ、園庭でのたこ焼き、レストランでの外食など、食事が楽しみなものとなるよう工夫しており、歓談しながら和やかに食事している。利用者毎に食事や水分の摂取量を把握し、口腔ケアもプランに沿って支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を記録し、一人ひとりに応じた支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛け（介助）を行い、夕食後は義歯洗浄剤で対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録表を活用し、出来るだけトイレでの排泄を促している。	利用者毎の排泄パターンを把握し、日中は可能な限りトイレでの排泄を支援しており、食事や水分の摂取状況や運動量等も把握して便秘の予防に取り組んでいる。支援に際しては、羞恥心や不安感の軽減に配慮し、利用者の状態に応じた介護用品や支援方法を介護計画に反映させて改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給・腹部マッサージ等を行っている。 状態によってはかかりつけ医へ相談し、内服を処方してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	希望に出来るだけ添えるように取り組んでいる。	健康状態に配慮しながら、週3回の入浴を支援し、排泄の失敗等には即時に清拭や入浴で清潔を保っている。予定外の入浴や温度、入浴剤等は希望に添って柔軟に対応し、ゆっくりと楽しんでもらえるように支援している。入浴を渋る利用者には、時間や声掛け等を工夫して意欲を待つように努め、入浴後は水分補給や皮膚疾患の手当等も支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温・湿度管理に気を配り、就寝までは思い思いに過ごされている。不眠傾向の方はかかりつけ医と相談し、薬を処方していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送りや連絡ノート等でスタッフ間の情報を共有している。薬説明書を個々のファイルに綴じ、いつでも確認でき把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月、ドライブや外食等を実施しており、歌や踊りの慰問の機会を作っている。好天時は外気浴を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	基本、外出泊は自由である。正月・お盆等は本人希望・家族と相談して支援している。	利用者の外出への意向は、日常の関わりの中で把握し、天候や健康状態に配慮しながら希望に沿って散歩や買い物、通院、外食、地域のイベント、一時帰宅等の外出を、家族と協力して取り組んでいる。また、季節の花見やレストランでの外食、公園や海岸へのドライブ等、全員での外出も計画的に実施して利用者のリフレッシュを図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>預り金を金庫に保管し、必要時にスタッフと一緒に出し買物されている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に応じていつでも電話使用できる。また、スタッフが代行してお掛けしお話ししていただいている。家族からの電話も自由に出る。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間には季節の展示物や花を飾っている。窓からは季節の草花が見え、季節感を感じられる空間づくりをしている。</p>	<p>4層構造の壁や2重ガラスのサッシ、高い天井、落ち着いた色調の内装など、防音、防火、快適さに配慮された建物で、余裕ある広さが確保されている。リビングには、テーブルやソファ等が動線や利便性を考慮して配置され、日常的に清掃や衛生管理に取り組んでいる。利用者の作品や写真、生け花等も随所に飾られ、周辺の景色から四季が感じられるなど、和やかで落ち着いた雰囲気となっており、利用者は思い思いの場所で過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フローアにてソファに腰掛けられ、気の合う方とのおしゃべりを楽しんでいただいている。利用者同士の話しやすい席などの配慮をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使用していた家具やTV等を持ち込み、写真や思い出の品などを壁に飾ったりして居心地良く過ごせるように工夫している。	フローリングの居室には、エアコン、ベッド、クローゼットが備えられ、利用者の意向に沿って清掃等を支援して安全で快適な生活の維持に取り組んでいる。使い慣れた寝具や、テレビ、家族写真、位牌、小物等を自由に持ち込み、自身の作品も飾って、その人らしい和やかで居心地の良い居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々に合った身近に出来る事を探り、声掛け・見守りをして、無理せずに行っていただけるようにしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input checked="" type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない